

項目	ご意見	町の考え方
施設整備方針	修繕等について出来る限り島内の業者で対応されるということですが、実際にはどれくらいの方が対応可能でしょうか？	具体的な割合は、各プラントメーカー毎に違いが想定されます。町としては、可能な限り整備方針に基づいた施設を整備できるよう取り組みます。
基本条件	長期的にゴミの回収コストを考えると、相応の規模のものを北部、南部でそれぞれ運営の方がベターなことはないのか？ガソリンの使用量が減れば、環境にはより良いと思われれます。	北部南部にごみ処理施設を配置すると、移動距離が短くなりごみ収集に係るガソリン使用量が減る一方、施設を分けることで、施設整備及び人員の配置を考えた場合、経費の重複が懸念されます。国の方針において「高度な処理が可能で小規模なごみ焼却施設等を個別に整備すると多額の費用が必要となることから、可能な限りごみ処理施設を集約化し、広域的に処理することにより、公共事業のコスト縮減を図る必要がある。」とされており、施設は現行のとおり一本化して運営します。
計画諸元	生ごみ、プラスチックごみの分別をやめ、可燃ごみ扱いにしてほしい。分別の労力、家庭での保管、処理費用や施設の維持管理、収集費用などを考慮してほしい。(有価施設とごみ施設が混同されている。また、どの様に資源化されているかわからない。)	国や県の示す廃棄物の処理方針に基づき、ごみの減量化とリサイクルに引き続き取り組みます。これらの取り組みを行うことで焼却量の削減、焼却灰の減少に繋がり、経済的な施設運営に寄与すると考えています。一方、ご指摘のとおりリサイクルの取り組みについては収集及び処理費用の精査を行い、費用対効果の検証を行います。
計画諸元	現状、生ごみはたい肥処理となっているが、他の多くの地域では焼却している。屋久島町においても民間が運営しているため、焼却する可能性があるかもしれないと想定して、事業者選定の際に検討に入れておくほうが良い。のちにそうなった際に事業者から検討に入っておらず、追加投資を要求される可能性がある。	
計画諸元	生ごみを燃やして	
計画諸元	ある程度大きな海岸の漂着ゴミ、プラスチック製の浮き、ロープなども常時、受け入れ可能なものにしてほしい。	海岸漂着物については、焼却後に出てくる焼却灰の塩分濃度の高さ、網やロープなどは焼却の際に溶けて焼却炉内にこびりつく可能性等が指摘されており、一般廃棄物処理施設での処理は施設の延命化の観点から注意が必要と考えています。今後行う仕様書作成の中で確認します。
計画諸元	全国で問題になっている海岸への漂着ごみの対策を検討課題として議論して方策を想定しておく必要がある。観光を主要事業とする島にとっては、観光客に残念と思われなため重要な課題であり、観光を主要産業としている沖縄の具体例を参考にすべき。	
計画諸元	新しい焼却炉で海洋漂着ごみの処理が出来ない場合は、チリメーサを導入してほしい。	

計 画 諸 元	全国各地で問題となっている、災害ごみの対応もこの機会に検討課題として議論して方策を想定しておく必要がある。保管場所や運搬方法、分別方法等々焼却以前の課題が多い。	処理能力には災害ごみ分を含めております。また、災害廃棄物処理計画に基づき対応を検討します。
計 画 諸 元	屋久島では、まだまだ野焼きが盛んですが、草木だけでなく、産業廃棄物系の悪臭を放つものも一緒に燃やされているようで、悩むことがあります。環境への配慮や、身体への影響も懸念があります。また、マイクロプラスチックの処理方法についてもぜひご検討下さい。	草木、剪定ごみについては、現在ごみ袋に入れていただき受け入れをしておりますので、今後も同様に受け入れを行っていく予定です。マイクロプラスチックについては、国の動向を注視し検討を行ってまいります。
計 画 諸 元	町民に計画案を示すにあたっては、現在の炭化炉施設と新施設とを比較した資料が欲しいです。(2-14 あたりにあれば。)・焼却するゴミの量 ・温室効果ガス ・焼却残渣 ・年間の維持コスト等々がどう変わる予定なのか。	ご指摘の焼却するゴミの量の変化については、基本計画(案)3-29 で示しておりますが、温室効果ガス、焼却残渣、年間の維持コスト等は、今後行う仕様書作成の中で施設の詳細な仕様に基づく確認を行います。また、これらの情報については町報等でお知らせします。
計 画 諸 元	1 炉1系統を選択しているが、正常時だけでなくトラブル発生時の事例を情報収集し、2炉2 系統のほうが安心ということはないか具体的事例はないか。	類似施設の状況や施設建設費の観点から検討を行い、1 炉1系統を選択しました。トラブル発生時の対応としては、焼却施設に搬入されたごみを貯留するごみピットの容量を7日分確保し、ごみの受入を継続できるようにします。今後行う仕様書作成の中で迅速なトラブル解決の方法についても検討します。
計 画 諸 元	表 3-11-4 の比較で12時間1炉にするエビデンスに欠けている。16時間採用が妥当に思える。	主に維持管理経費の経済的な点から12時間1炉を採択しています。また、安定処理の観点から、焼却炉燃焼室の大きさがより標準範囲に近い12時間1 炉が望ましいと考えます。
計 画 諸 元	24時間管理の必要性 新たな焼却場は12時間稼働ということですが、安全管理上施設停止後の監視業務は必要不可欠なことと考えます。	ご意見は考慮させていただきます。今後行う仕様書作成の中で他の12 時間運転の施設の監視方法等を確認し、検討します。
候 補 地	表4-2-1に近年県が公表した土壤汚染対策法に係る土地の形質変更の届出は該当しませんか？施設・土地にサイズ表示がないのでわかりません。	土壤汚染対策法第4条に基づき、土地の形質変更面積が3,000 m <sup>2</sup> を超える場合は届出を行います。

施設基本計画	<p>温室効果ガス等については、カーボンオフセットの検討が出来ないでしょうか。施設整備方針の「環境に配慮した施設」の項目にも記載されている目標を達成するためにも、造成を予定している用地や、現施設構内への緑化を進め、炭化処理方式に比して増加する分のカーボンオフセットを行うことで、環境に配慮する施設としての体裁を整えていく必要があるのではないかと思います。</p>	<p>新しいごみ処理施設では、照明器具にLED 灯を極力使用するなど環境への配慮を行っていきます。</p> <p>ご指摘の件につきましては、新しい焼却施設と現在の炭化施設の温室効果ガス排出量比較を行い、対応を検討します。</p>
施設基本計画	<p>プラットフォームで分別できるようにしてほしい。</p>	<p>取組み易い分別については、ご意見として考慮させていただきます。</p>
施設基本計画	<p>耐用年数が 15～20 年だということですが、改修の期間は 1 炉でどのように対応されるのでしょうか？</p>	<p>将来、中長期的に想定される大規模改修時には、焼却施設に搬入されたごみを貯留するごみピットの容量を 7 日分確保し、ごみの受入を継続できるようにします。また、稼働日を設定しており、炉の稼働に支障が出ないよう改修工事の工期設定を行い、対応することが考えられます。更に、必要があれば一時的に島外の他施設での処理も検討します。</p>
施設基本計画	<p>焼却炉は海外メーカー製のものも選定対象になるのでしょうか？</p>	<p>今後行う仕様書作成の中で、施設の詳細を決めていきます。</p>
施設基本計画	<p>排水は無放流ということでしたが、貯蔵されるのでしょうか？</p>	<p>プラント排水は焼却施設内に設ける排水処理設備で浄化処理されます。浄化処理された水は、排ガス冷却水等の一部として再利用されます。</p>
施設基本計画	<p>水道管がないと知り、起こりうる可能性のある火事や災害時に影響がないのか確認したい</p>	<p>新たなごみ処理施設は地下水を用いる計画です。地下水の流量調査の結果、施設の必要水量は満たしていますが、火事災害時の水の確保については、国が示す施設整備基準などを参考に緊急時の対応が行えるよう、施設内に水槽を設け、必要量の貯水を行います。</p>
施設基本計画	<p>5-1「5）敷地周辺設備（2）用水 新設し、屋久島クリーンサポートセンター既存施設へ分岐供給すること。」とあるが、これは水道を引くという事なのか、水道を通す検討を頂きたい。個人的な要望でもあるが焼却場に消火栓が無いのは不安です。</p>	
施設基本計画	<p>水路の流れを変えることはしてほしくない。放出口付近が崩れる恐れがあるし、14、5年前の工事で現に大きく崩れています。</p>	<p>水路については、ご意見として考慮させていただきます。</p>
施設基本計画	<p>近隣の水質検査や環境への影響や水道問題の結果を知りたいです。</p>	<p>水質検査については、現在行っている地下水の水質調査では問題は無いと報告があります。新しい施設完成後も環境調査を行い、本計画で示した環境保全計画に則った施設運営がされるよう留意していきます。</p>

要望	離島・1万2千人規模の自治体での実績のある事業者を選定すべき。	ご意見は考慮させていただきます。
要望	離島で実績のある信頼できる事業者を選定してほしいです。	
要望	参加希望事業者の運用実態を、納入自治体に聞き取り調査を行い判断の根拠とする。	ご意見は考慮させていただきます。
要望	他自治体のように業者の不正を防止するチェック機能を規定し実施する。	ご意見は考慮させていただきます。他自治体の事例も参照します。
要望	野積みにされているゴミ？らしきものは中へ入れて欲しい	場内に積んでいる炭化物については、順次処理していきます。
要望	環境への影響、処理能力、長期維持管理がしやすい方法など、ぜひ持続可能な計画に基づいた新しいごみ処理施設の建設を求めます。	ご意見は考慮させていただきます。
要望	<p>「環境配慮」「安全かつ安定処理」「優れた維持管性・経済性」+メーカーアンケート結果を考慮し、ストーカ方式に決定したとの行政の考えが示されていますが、そのような方法では、意見を出す人は少ないと思います。よりよい結論を出すためには、情報の提示と地域住民の間での十分な議論が必要だと思います。そこで3つの提案をします。</p> <p>■提案1. まずは、情報の提示をしてください。</p> <p>私を知りたいのは、各選択肢での「費用対効果」の予測モデルです。</p> <p>例えば、</p> <p>選択肢1) 流動床式</p> <p>選択肢2) ストーカ方式</p> <p>選択肢3) 資源リサイクルを徹底する方式(大崎町の方式)</p> <p>選択肢4) 粗大ごみを業者に売却する(リユースを徹底する)</p> <p>選択肢5) 現在の炭化・電気溶融施設を修理して使う・・・</p> <p>など、いろいろな選択肢があったのではと思いますが、上記の各選択肢横軸に時間(年)を、縦軸に累積する費用(円)を、折れ線グラフで表すことができると思います。前提条件も書いてください。</p> <p>もちろん現状の折れ線グラフも、比較のためお願いします。</p>	<p>費用対効果につきましては、今後行う仕様書作成の中で施設の詳細な仕様に基づく確認を行い、確認が出来ました情報は町報等でお知らせしてまいります。</p> <p>参考として検討経過等を次のとおり記載します。</p> <p>ごみ処理施設整備につきましては、基本計画案及び概要版に記載しているとおり屋久島町廃棄物減量等推進審議会で焼却方式の新たなごみ処理施設建設を求める答申をいただき、また、屋久島町廃棄物処理施設整備検討委員会において施設の整備方針等について報告をいただき、整備に向けた取り組みを進めているところであります。</p> <p>本町は離島であり、また、雨や台風による災害が発生しやすいという状況の中、国より近年の災害発生状況を鑑み災害ごみの処理について検討を求められており、町として一般廃棄物を適正に処理するため、新たなごみ処理施設整備を進めているところであります。</p>

要望	<p>■提案2. 議論を引き起こすための材料を正直に提示してください。材料とは、「環境配慮」「安全かつ安定処理」「優れた維持管理性・経済性」などの「目標」ではなく、担当者が直面している課題です。例えば、新聞紙や段ボールはリサイクルしようとする業者引き取りの際に高くつくので仕方なく焼却処分している。全体の〇%は、きちんと分別できないために資源リサイクルに出すことができない、などです。課題がわかれば、さあどうしようとする人が現われると思います。課題がわからないから、議論が起きないのだと思いますが、いかがでしょうか。</p>	<p>課題としては、炭化施設の老朽化が進み、修繕費が高額になっていること、燃えるごみの中に金属物などが混入し施設へ損傷を与えていること、島外への輸送費を含めリサイクル価格の変動が激しく、安定して効率的なリサイクルに取り組むことが難しいことです。各種ごみの不適物の混入状況等につきましては、町報等でお知らせし、分別の徹底に努めていきます。また、本町の特徴として、島内ではごみを埋め立てる十分な土地が無く、島外へのごみの搬出は、輸送費を要することが挙げられます。そのため、可能な限りごみ発生量を削減し、排出されたごみは焼却処理により減量化し、最終処分量及び島外への輸送量を減らすことでコストの削減を図ります。</p>
要望	<p>■提案3. 町民にメリットを提示してください。すべて税金と役場がやってくれる、と考えている人も多いと思いますが、ゴミ問題は自分たちの問題と考えるためのきっかけを作ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きちんとリサイクルすれば、経費が抑えられて町民税が〇円安くなります</li> <li>・ゴミ袋代が安くなります</li> <li>・毎月の分別率を公表し、達成できたときは景品を抽選する</li> <li>・不定期でまだ使える粗大ごみ(ベッドやタンスなど)のセールを行う など</li> </ul>	<p>町民の皆さんへのメリットにつきましては貴重なご意見として考慮させていただきます。</p> <p>ごみ処理は、経済性や住民によるごみ排出時の負担の観点のほか、環境への負荷が低く、長期間に渡り安全に安定したごみ処理を行うことが大切であると考えています。</p>
要望	<p>新しいごみ処理施設が焼却方式になるのなら、何でも燃やしてしまえ、どうせ燃やせるんだから分別をする必要はないと町民に思わせ無いような広報をしてほしい。</p>	<p>国の定める廃棄物処理法基本方針及び鹿児島県廃棄物処理計画に則り、屋久島町ごみ処理基本計画に示したごみの減量化・リサイクルの取り組みを、費用対効果と環境への負荷を検証しながら進めます。また、ごみ処理についての情報を町報等でお知らせしてまいります。</p>
要望	<p>リサイクル事業については従来通りとなっているが、現在のリサイクルの現状を明示し、将来の見通しについても考えてほしい。これまでいくつかのリサイクル情報を提言していると思うが検討をしているのだろうか。</p>	

要望 (ごみ減量)	新しく焼却炉が出来るタイミングでリユースの施設をクリーンサポートセンターに作ってほしい。	ご意見は考慮させていただき、ごみの減量化・リサイクルの取り組みを、費用対効果と環境への負荷を検証しながら進めます。
要望 (ごみ減量)	排出抑制の目標達成のために、世界自然遺産の屋久島だからこそ、ゴミについて減量、リサイクル、リユース、リフューズなどを発信するべきではないでしょうか？地域活性化にも繋がると思いますし、このコロナ禍での雇用にも繋がると思います。そして何より、屋久島のイメージももっと良くなるのではないのでしょうか？屋久島から発信することによって、多くの使い捨てごみを出している観光客の意識も変わり、よりごみの削減、減量に繋がると思います。屋久島にとってよりよい施設が出来ますように。	
要望 (ごみ減量)	ゴミを減らす為に、リサイクル、リユースにもぜひ取り組んで頂きたいです。島内で、使えるものは島内で必要な人に、届くようなシステムを作ることはできないのでしょうか？それが仕事として成り立ち、島内の雇用が生まれることを望んでいます。	
要望 (ごみ減量)	クリーンサポートセンターへ見学に行った際、使えるものが沢山あることに驚くとともに、ゴミの分別を丁寧にされてる作業員の姿を見て、分別の大切さが身に沁みました。島内における分別への理解は、まだまだ不十分ではないのでしょうか？ゴミ袋に入れてしまうスタイルではなく、拠点回収など、分別がだれでも見てわかるように、工夫が必要ではないかと思いました。	取り組みやすい分別については、ご意見として考慮させていただきます。
要望	「ごみ処理」においては、町民の理解と協力がなければ円滑に行うことができず、それ故に新ごみ処理行政に向けての説明意見交換の場が必要。コロナの状況で難しかったとの説明があったが、工夫をすれば場の設定は出来たと思う。要するに意見を挟む余地のないような「計画(案)」を町民に知らしめただけの感がある。また、この「案」には、新ごみ処理施設に伴うごみ処理行政への展望が開けてこない。	説明会については、開催する計画で進めておりましたが、新型感染症の状況を鑑み、開催日の決定が難しく、開催の広報手段が防災無線及び町ホームページへの掲載となったことをご理解ください。 今後のごみ処理について、分別は基本的に現行のとおりとし、分別の徹底を基本としたごみの減量化及びリサイクルの取り組みを進めていきます。

要望	<p>現在のごみ処理の方法について理解している町民は少なく、まずもって、現在の炭化電気溶融炉の不具合から来る一連のごみ行政の不調を総括反省して「新ごみ処理施設案」に繋げる必要がある。</p>	<p>平成 30 年度に開催した屋久島町廃棄物減量等推進審議会及び令和元年度屋久島町廃棄物処理施設整備検討委員会で現施設についての問題点については、委員の皆様からご指摘をいただきました。そのことを踏まえ、基本計画案の作成を行っております。</p>
要望	<p>新たにごみ処理施設の建設にあたり、炭化電気溶融設備の失敗を教訓として、同じ過ちを繰り返さないように願います。</p>	
要望	<p>プラスチックゴミは世界的環境汚染が心配されていますが、個人レベルの対応では汚染を食い止めることはできず、国、国際、グローバルレベルの対応が必要。町も国に働きかける方向を望む。</p>	<p>ご意見は考慮させていただきます。</p>
要望	<p>今後、ごみ問題の様々を語り合う一般人参加の例会を望みます。</p>	<p>新たにごみ処理施設の進捗やごみについての情報は、町報や説明会などでお知らせしていきます。 ご意見は考慮させていただきます。</p>